

学校だより

熱砂

<発行>
令和2年10月6日
発行責任者：校長
和田 政男

学校スローガン「笑顔いっぱい 一人ひとりがかがやく学校」に決定！

前号で、ドバイ日本人学校のグランドデザインの策定について紹介し、本校のスローガンを児童・生徒に募集する旨お知らせしたところ、62ものアイデアが寄せられました。先生方で協議し、寄せられたアイデアの良いところ取りをし、上記のスローガンに決定いたしました。

「笑顔いっぱい・・・」というフレーズは、G4、G5の多くの児童、G6、G7の生徒のアイデアからいただきました。笑顔に心身の健康が表現されていると感じます。「かがやく学校」はG9の生徒のアイデア、「一人ひとり」はG8、G9の生徒のアイデアからいただきました。自己実現をめざし、世界を舞台に輝く人材を育む学校、ちがいを認め合える学校、自主・自律という本校の理念が表現されていると考えます。

他にも「ドバイっ子」や「世界にたすきをつなぐ」「仲良し」「挑戦」等々、採用したいフレーズがたくさん寄せられました。児童・生徒の皆さんの想い、期待、学校のイメージを知ることができ、とても嬉しい審査になりました。このスローガンのもと、より良い学校づくりに邁進いたします。

第6回PTA役員会から

10月2日、オンライン上で第6回PTA役員会が開催されました。学校からは金子教頭と新藤教務主任が参加いたしました。

その議題には各学級の役員の方が事前に聞き取りを行った事項があり、その中に、「登校再開後の学校生活について、保護者からの質問・要望」がありました。それらについて紹介し、学校のコメントを記したいと思います。

○ 100%全校登校は考えているか？

→ 学校再開から約4週間が経過しようとしており、この間、KHDA（ドバイ教育局）やDHA（保健局）、DM（ドバイ政庁）の査察で指摘されたことに対応しながら、登校時の流れ、消毒、手洗い、マスクの着用、社会的距離を保ちながらの生活など、新しい学校生活の様式に馴れてきたところです。

次のステップとして、100%全校登校を考えており、スクールバス定員の50%を満たす方策、トイレや手洗い場など共有スペースの密を防ぐ方策等を工夫し、KHDAに100%全校登校を認めていただくよう申請をしております。

KHDAからは、「どれだけの保護者が全面登校を希望しているのか、調査結果を報告するように」との指示をいただいております。これを受けて、簡単なアンケート調査を行いますので、全ての保護者からの回答をお願いいたします。

KHDAからの許可を得次第、100%全面登校に切り替えたいと思います。コロナ感染の疑い、あるいは感染への不安から登校を控える児童・生徒向けに、授業のオンラインでの中継もこれまで同様続ける予定です。

○ 儀式や校外施設への訪問等、改まった席で着用できる、統一された（制服のような）ものがあってもよいのではないか？（ポロシャツなど？）

→ 有難いご意見をいただきました。前向きに検討させていただきます。

○ ウォーターディスペンサーの使用禁止に伴って配布しているペットボトルの水は不要ではないか？

→ 同様のことは職員会議でも話題になりました。水の必要性に個人差もあることから、「配布は続けるが、受取を断ることができる」と指導させていただきます。

本当は欲しいのだけれども、欲しいと言い出せない子どもへの配慮です。

（以下、次号に続く）

スクールバス緊急事態対応訓練

緊急事態訓練は、火災想定、不審者侵入想定、バス事故想定と年3回行う予定ですが、今回は、バス事故想定緊急事態訓練を行いました。

1回目は9/28、2回目は10/5と登校グループがそれぞれ訓練しました。運転手やバスアテンダントの協力をいただきながら、バス内で担当

の先生から注意事項を聞き、リーダーは実際に学校に電話をしました。

